

最新の業界事情

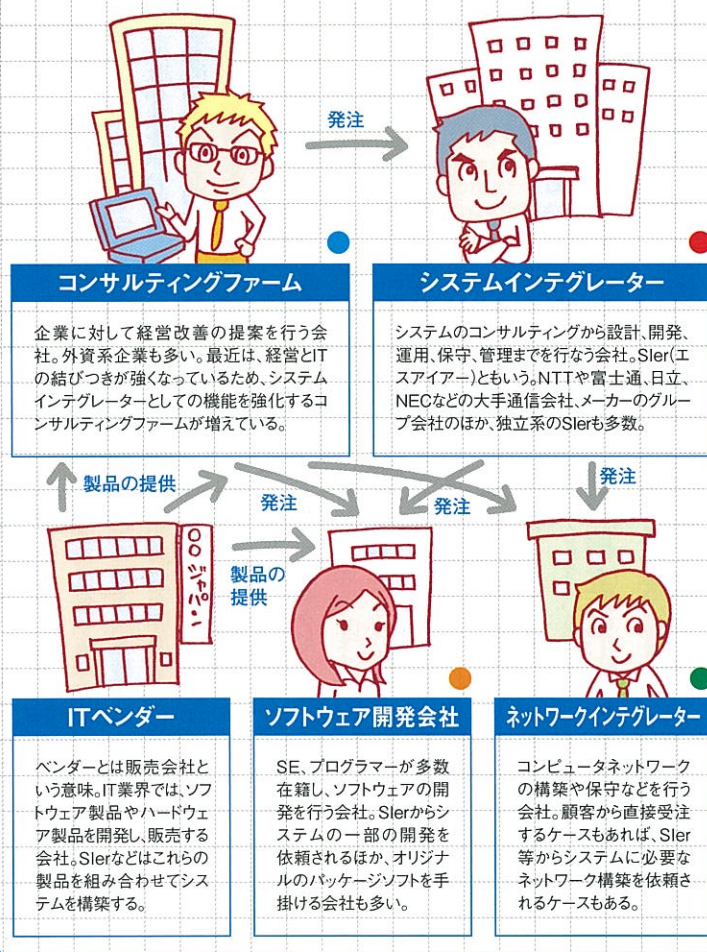
資格が業界共通の評価基準として定着

IT業界というと、一頃世間の注目を浴びたライブドアなどのネットベンチャー系の企業を連想する高校生が多いかもしれない。しかし、一般的には、今回紹介したようなSEをはじめとするコンピュータ技術者たちが活躍する「システム開発」の分野をIT業界とすることが多い。

システム開発の流れは右ページで紹介している通り。最初にIT企業が案件を受注。システムコンサルタントがシステム全体を設計し、それをもとに、プロジェクトマネージャーを頂点としたプロジェクト(目的・期間が定められた活動のこと)で実際にシステムを組んでいく。プロジェクトのメンバー構成はピラミッド型で、細かな部分の開発に携わるSEやプログラマーは人数も多い。一つのプロジェクトに複数の会社のメンバーがかかわることが多く、転職でキャリアアップする人も多いため、情報処理技術者などの資格が共通の評価基準として定着しているのもIT業界の特徴だ。

IT業界(システム開発)のさまざまな企業

以下に紹介しているのが、システム開発にかかわっている主な企業種だ。特に大規模なシステム開発になると、1社のみで行うケースは少ない。大手のシステムインテグレーターやコンサルティングファームが受注し、全体の設計をして、細部の開発は中小のソフトウェア開発会社に依頼するといったパターンが多い。



用語解説

サーバー	ネットワークで接続されたほかのパソコンに対して、さまざまな機能やサービスを提供するコンピュータのこと。システムの中核。
仕様書	コンピュータプログラム(ソフトウェア)を作成するために、必要な機能や構造などを記した設計図のこと。
情報セキュリティ	コンピュータウイルスや外部からの不正アクセスに対して、システム内部の情報を守ること。近年、重要度が高まっている。
ソフトウェア	コンピュータプログラムのこと。Windowsなどの基本ソフト(OS)とWordやExcelなどのアプリケーションソフトがある。
ハードウェア	パソコン本体やマウス、メモリ、周辺機器などの装置のこと。実体のないプログラムであるソフトに対して、物理的なものがハード。
プログラミング言語	コンピュータプログラムを作成するための専用言語。どのような指示に対してどのように動作するかを記述する。Java、C言語などが有名。

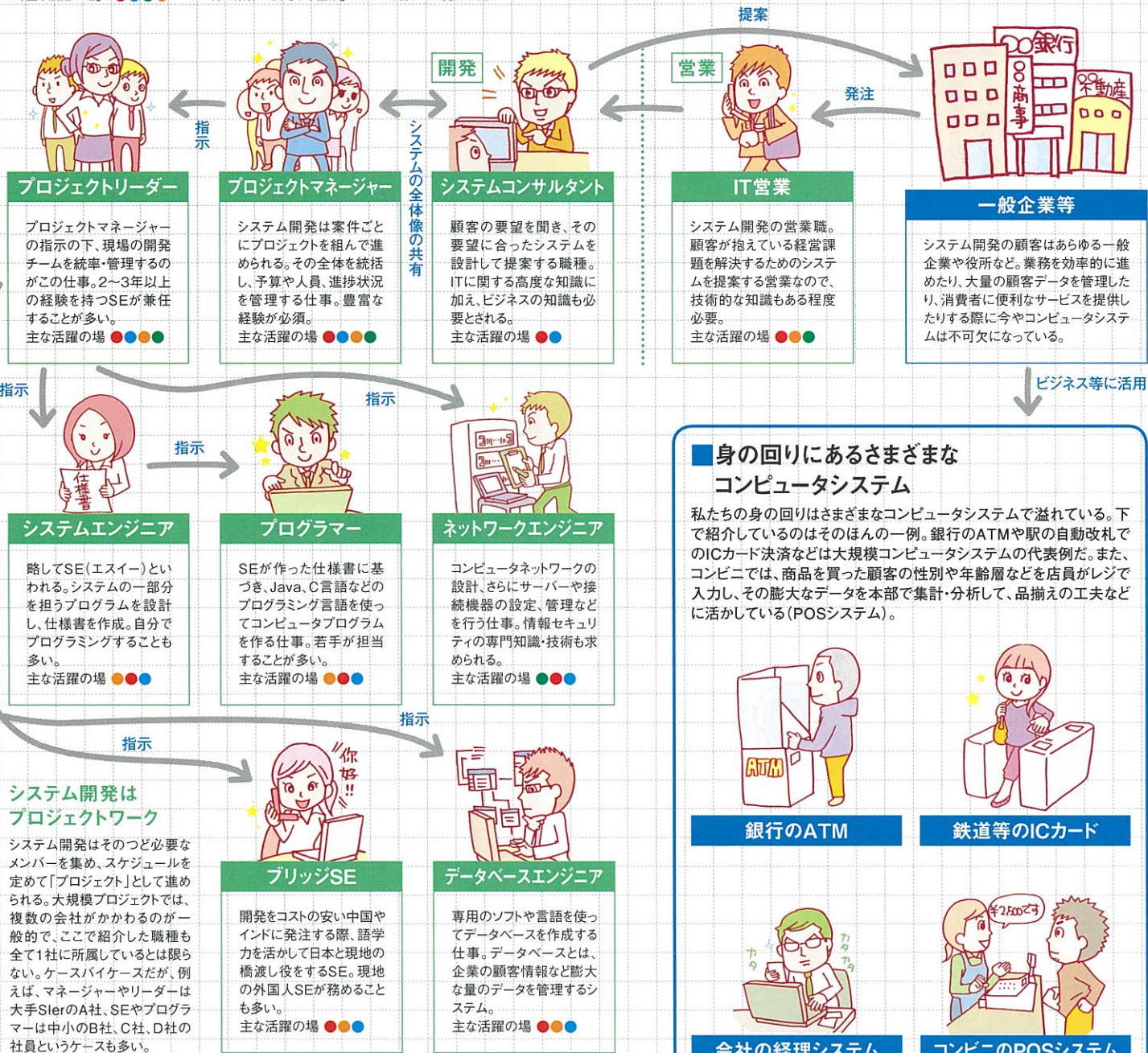
IT系のシステム開発には多くのプロがかかわっている

「IT業界」という言葉はよく目にしていても、実際にどんな仕事をする業界なのか明確にイメージがつかない高校生は多いかもしれない。そのIT業界の代表的な業務がコンピュータシステムの開発。そこには技術者をメインに実にたくさんの方が携わっている。その全体像を紹介しよう。

取材・文 / 伊藤敬太郎 撮影 / 田中史彦 イラスト / 藤井昌子

コンピュータシステムの開発や運用にかかわるさまざまな職種

※「主な活躍の場」の●●●●●マークは、「IT業界のさまざまな企業」のマークと合わせてみてください



運用+管理



サーバー管理者

システムやネットワークの中核であるサーバーを管理する技術者。サーバーにかかる負荷や不正アクセスなどをチェックするのが主な仕事。
主な活躍の場 ●●●●●



カスタマーエンジニア

略してCE(シーイー)ともいう。コンピュータシステムを導入した顧客企業を直接訪問して、システムの点検や保守などを行う仕事。
主な活躍の場 ●●●●●

仕事ができる業界図鑑

vol.15

IT業界

ホチキスを外して、教室に掲示してください!

IT業界の職種&業種相関図

システム開発には、日本を代表するような大手企業から中小企業までさまざまな規模、役割の会社がかかわっている。そこではどんな職種の人たちが活躍しているのかを詳しく見ていこう。

身の回りにあるさまざまなコンピュータシステム

私たちの身の回りはさまざまなコンピュータシステムで溢れている。下で紹介しているのはそのほんの一例。銀行のATMや駅の自動改札でのICカード決済などは大規模コンピュータシステムの代表例だ。また、コンビニでは、商品を買った顧客の性別や年齢層などを店員がレジで入力し、その膨大なデータを本部で集計・分析して、品揃えの工夫などに活かしている(POSシステム)。

